

式 辞

校庭の木々の芽もほころびはじめ、たしかな春の息吹を感じる今日の佳き日に、第六八回卒業証書授与式を、挙行できますことは、教職員一同の大きな喜びであります。本日は、公私ともご多忙の中、ご来賓として学校法人五島育英会、泉理事長先生、東京都大野城学長先生、グループ校からは付属中高、篠塚校長先生、等々力中高、山崎事務部長様、前校長重永先生、父母の会から中原会長様、本校同窓会から白井理事様、その他、父母の会総務役員の皆さまにもご臨席を賜りました。ありがとうございます。後ほど改めてご紹介させていただきます。また、式場には沢山の卒業生の保護者様にも、ご参列ただいております。心より感謝申し上げます。

この後、ご来賓の皆さまからもご祝辞を賜りたくお願いいたします。

さて、卒業する七九名の皆さん、厳肅な雰囲気の中で、一人ひとりがしっかりとした姿勢で、卒業証書を受け取りました。そのりりしい姿に、式場の皆さんからは「よく頑張ったね」といった拍手が送られました。この拍手は、皆さんのこれまでの努力と、活躍を讃えお祝いする、参列者全員からの思いが込められていました。一人ひとりからみながっている、頑張り切った自信と自覚を、式場の皆さんが感じ取ってくれたのだと思います。

今年朝会などを通じ、皆さんには「多様性」について話してきました。

これから皆さんは中学校に進み、更には、その先の上級学校へ進み、いずれは社会に進出していきます。今以上に、生まれ育った環境や、持っている特徴や価値観、考え方が違う様々な属性の人々が集まっている中で、生活をしていくこととなります。

けれども、本校での六年間の様々な活動で皆さんが得た、周囲への思いやりや、優しさ、異なる意見を持つ人に耳を傾ける力、論理的思考力に基づく発言と行動力は、グローバル化や情報化、AI化が進み、複雑で先々を見通すことが困難な社会となったとしても、多様性を尊重し、認め合うことができる皆さんにとっては、自ら判断し、自ら問題解決して、周囲と協働しながら、乗り切っていくことができると信じています。とはいっても、まだまだ未熟な部分もある皆さんです。ですから、これから進む上級学校で、もつと沢山の経験と、学びを積んでいくって欲しいのです。将来、立派な紳士、淑女になるために、学び続ける努力を期待しています。

あらためまして、保護者の皆さまに一言ご挨拶申し上げます。

入学からの六年間を、見守ってこられた保護者の皆さまには、今日のお子さまたちの姿に、さぞや感慨深いものがあるのではないのでしょうか。

本日ここに、小学校の全過程を無事に終えて、立派になって巣立つこととなりました。心よりお祝い申し上げます。

皆さまからお預かりしましたお子様の、健やかな成長を願い、私ども教職員は、誠意をもって教育にあたって参ったつもりではありますが、至らぬ点もあつたことと思ひます。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

私たちは、これからも、成長していくお子様方を見守り、応援していく所存でございます。六年間にわたり、本校教育活動へのご理解と、温かなご支援をいただきましたことに、篤く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

卒業生の皆さん、皆さんの前途洋々たる人生に、私たちは大きな期待をしています。どうか東京都市大学付属小学校の卒業生であることとの誇りと、自覚を忘れずに、そして後につく後輩たちのためにも、よき手本として、前進してください。それが私たちの願ひです。

ここは皆さんの母校です。何かあつたらいつでも来てください。先生方は待っています。辰年に卒業するみんなは、上昇あるのみ、高く舞い上がれ 六八期生。

令和六年三月十五日

東京都市大学付属小学校 校長 松木 尚